

## 第23回 総合防犯設備士資格認定試験問題

### A問題解答例



公益社団法人 日本防犯設備協会

## A 基礎問題（必須）

### A 問題-1（セキュリティについて1） 解答例

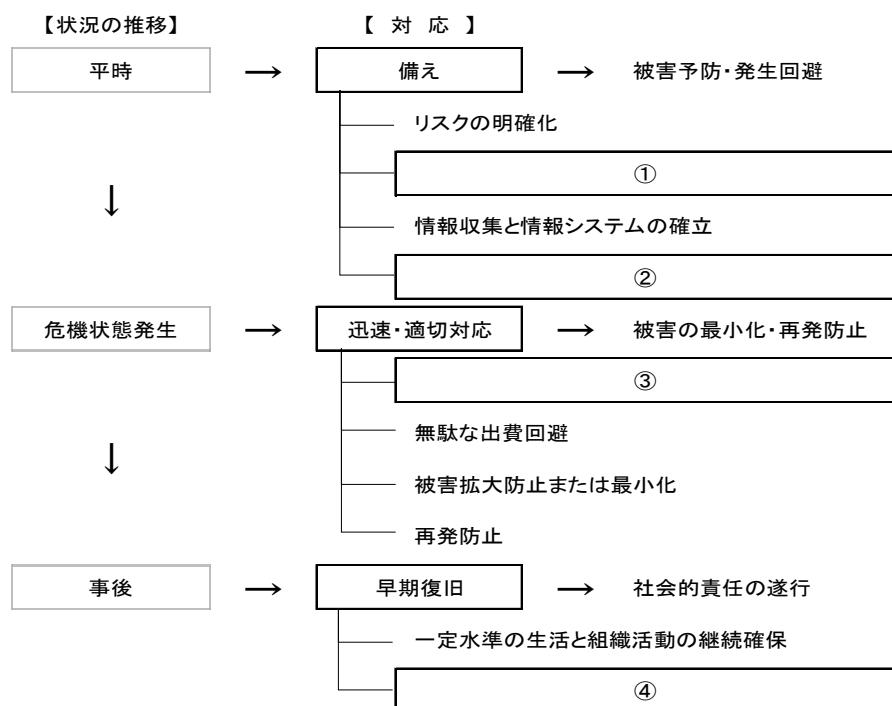
安全で平和な生活と組織活動を継続するための資源であり、財産であるリソースを記入例にならつて五つ記せ。

#### 【解答欄】

番号	分類	リソース
①	無体物	信用
②		権利
③		情報（プライバシーを含む財産的価値のある情報）
④	有体物	かね（金）
⑤		ひと（人材）
⑥		もの（貴重品、関連施設、システム、施設、資材、原料、製品）

### A 問題-2（セキュリティについて2） 解答例

下記のチャートは危機管理のステップについて示している。チャート内の①から④に該当する適切な言葉を下の解答欄に記せ。



#### 【解答欄】

①	脅威の分析・評価
②	最悪事態を想定した事前準備
③	混乱防止
④	(自分の)生活と組織活動の迅速復旧

### A 問題-3 (防犯の理論)

### 解答例

防犯環境設計は、犯罪の発生する“場”に着目し犯罪企図者が犯行を実行しにくい環境を作ることで犯罪の発生を防止しようとするものである。説明欄に該当する防犯環境設計の四つの原則名を記せ。

#### 【解答欄】

4原則	説明
対象物の強化	侵入口となる窓や扉を突破されないように強化すること。
接近の制御	侵入口となる部分へ容易に近づけないようにすること。
監視性の確保	犯罪企図者が見られている状況を作ること。
領域性の確保 (または強化)	犯罪企図者などの部外者の存在が不自然に見え社会的な抑止力が働くような雰囲気を作ること。

### A 問題-4 (防犯対策の考え方)

### 解答例

防犯対策は、防犯設備機器を設置するばかりでなく、建物の状況、設置場所、周辺環境、費用面などを勘案して防犯グッズ(防犯対策用品)を有効に活用する手立てもある。説明欄に該当する防犯グッズを記せ。

#### 【解答欄】

防犯グッズ	説明
防犯砂利	敷き詰めた上を歩くと砂利同士が擦れ、一般の砂利に比べて大きな音がする防犯に効果的な砂利。
センサー付ライト	人を検知して自動的に点灯または点滅し侵入者を威嚇する照明器具。
ガードプレート	錠前付近の隙間を埋め、バールなどが入らないようにするための金具。
ドアガード(または ドアチェーン)	開扉時に扉を半開きにし、押し売りなどの来訪者により強引に扉を全開状態にされないようにする金具。

## A 問題-5 (防犯設備の構築)

## 解答例

下表は、防犯カメラシステムを構築するのに必要な注意点を「撮影対象場所」、「設置場所」などの項目ごとに整理したものである。撮影対象場所の項目の注意点のように、各〔 〕内を埋めよ。

### 【解答欄】

項目	注意点
撮影対象場所	<p>犯罪が発生しやすいと思われる場所、防犯診断の結果脆弱であると思われる場所、それ以外にもカメラによる記録が必要な箇所などを対象とする。</p>
設置場所	<p>撮影対象が的確に撮影でき、撮影に対する妨害やカメラへの破壊工作などにも十分配慮して設置する。</p>
撮影目的と画角の選定	<p>撮影された画像の中の人物の大きさが、その撮影目的に合ったものであることが求められるため、日本防犯設備協会の定める画角選定に準拠し、撮影目的に合った画角を選択する。</p>
防犯カメラの選定	<p>全ての防犯カメラはRBSS 共通機能を満足する能力を有することが望ましい。暗い場所や逆光状態への対応、妨害工作への対応などを行う必要がある場合には、それに対応した高度機能を備えたものとする。</p>
デジタルレコーダーの選定	<p>撮影目的を実現できる記録レート、記録する画質と画像サイズ及び記録時間など実現できる機能・性能を有したものとする。</p>

## A 問題-6 (防犯設備の設計)

## 解答例

下表は、防犯設備の設計完了後において、設計の内容全般の評価についての記述である。四つの項目に対する検証内容を記入例にならって一つずつ記せ。

### 【解答欄】

項目	内 容
防犯上の有効性の検証	<ul style="list-style-type: none"><li>人の動線も踏まえて外部からの侵入はもとより敷地・建物内部での人の行動に対し、施主の懸念事項が解消されるか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>標的となりうる場所への侵入の阻止、侵入者の発見及び追跡などが有効に発揮できる設備となっているか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>対策に抜け落ちがないか。</li></ul>
設計内容の検証	<ul style="list-style-type: none"><li>機器等の設置位置、配線仕様、配線ルート等が適切で、かつ現場での施工に十分配慮されているか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>使用する機器、およびシステムの選択が適切か。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>図面、仕様書等の記載内容に矛盾はないか。</li></ul>
運用面からの検証	<ul style="list-style-type: none"><li>防犯設備の運用にあたって利用者に不便を強要することはないか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>侵入警報システムの警戒の開始／解除の操作で誤操作の恐れはないか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>出入管理システムにおいて、共連れ防止等に配慮されているか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>監理室での日常操作は、的確かつ効率的に行えるか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>停電や火災などの非常時に対する対策はできているか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>清掃やごみ収集などの建物の維持作業に対する配慮がなされているか。</li></ul>
維持管理面からの検証	<ul style="list-style-type: none"><li>使用する機器、およびそれを構成する部品等の寿命や点検周期は、他の設備と同等レベルか？極端に短いものはないか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>特殊品等の使用により交換部品等に極端に納期の長いものはないか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>日常管理をする管理者に、特段の知識技術を求めるこはないか。</li></ul>
総合評価	<ul style="list-style-type: none"><li>防犯設備を構成する各システムのグレードに大きなばらつきはないか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>予算等と大きな乖離はないか。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>将来の間仕切りの変更や使い勝手の変更などに柔軟に対応できるか。</li></ul>

## A 問題-7 (総合防犯監査 1)

## 解答例

総合防犯監査と防犯審査が相違する内容について空欄を埋めよ。

### 【解答欄】

	総合防犯監査	防犯審査
目的	防犯対策を総合的に点検・評価	審査基準に対する適合性の判定
評価項目	監査人が選定した項目を評価	審査基準に定められた項目を評価
対象範囲	対象とするリスク及びリソースを総合防犯監査計画などで定める	審査基準に定められた対象に限定
実施者	監査対象組織から独立かつ客観的立場の監査人	審査基準などに定められた資格などを保有する審査人
実施時期	定期的及び随時	審査基準の設定・改定時や対象物件の認定資格取得時・新築・増改築時など

## A 問題-8 (総合防犯監査2)

## 解答例

総合防犯監査に用いる主な監査技法は、「レビュー」・「アンケート」・「インタビュー」・「視察」があるが、そのうちレビューについて各欄を埋めよ。

### 【解答欄】

収集する情報	監査の最初の段階で、被監査組織の全体像把握、監査項目の決定に用いる情報を三つ、具体的に記せ。
	被監査組織の構成及び各機関の機能を記した文書
	被監査組織の施設図面及び施設周辺地域の地図
	防犯設備の仕様書、図面、マニュアル、運用・点検の記録など
	被監査組織における防犯対策に関するポリシー、ガイドライン、手順書など
	被監査組織が所属する業界団体における指針・基準など
	過去の監査記録と改善記録
留意点	監査の証拠とする文書、写真及びインタビュー記録、監査調書、監査報告書、議事録など
	収集した情報に関しては、紛失、盗難、不正持ち出しなどを防止しなければならないが、それはなぜか簡潔に記せ。
	被監査組織が保有する重要なリソース、防犯対策のせい弱性などに関する情報が含まれている可能性が高いため。

## A 問題-9 (総合防犯1)

## 解答例

これまで、日本は安全で平和であったので、セキュリティを意識しなくても人々の生活や企業等の安全な活動ができていた。

なぜ、日本が安全で平和であったのか具体的な内容を解答欄の①記入例にならって、四つ記せ。

### 【解答欄】

①	周辺国との関係が比較的良好に保たれてきたこと。
②	警察による社会の治安維持が諸外国に比べ非常に良いこと。
③	島国であるため同一の文化が醸成され、固有の倫理観が維持してきたこと。
④	国民の生活水準が高いこと。
⑤	貧富の差が小さいこと。

## A 問題-10 (総合防犯2)

## 解答例

次の内容は、サイバー犯罪の形態について説明したものである。具体的な説明に該当する解答欄の①～④のサイバー犯罪の形態を空欄に記せ。

### 【解答欄】

番号	サイバー犯罪の形態	具体的な説明
①	コンピューター・ウイルス	コンピューターに感染して、利用者の意図する動作をさせなかったり、コンピューターの機能を破壊したりするプログラム
②	スパイウェア	コンピューターのハードディスクなどに記録された情報やキーボードの操作(入力)情報、表示画面の情報などを外部に流出させる機能を有するプログラム
③	フィッシング	銀行など、企業からのメールを装い、メールの受信者に実存する企業の偽ホームページにアクセスさせて、そのページにおいてクレジットカード情報を入力させるなどして、情報を不正入手し悪用する行為
④	ファーミング	コンピューターの名前とアドレスの相互変換を行う DNS (Domain Name System)サーバーを不正に改ざんし、ユーザーが正しい URL を入力しても、自動的に偽のサイトに誘導して個人情報の榨取などをする行為